



ウシはなぜ胃袋が4つもあるの

栄養の少ない植物質をよく消化するため

肉食動物と草食動物では、消化器官の発達にちがいがあります。栄養豊富な肉を食べる肉食獣は簡単な消化器官でよく、小腸も短めです。一方、草食獣は栄養の少ない植物質を消化するため、大きくて長い消化器官をもっています。

なかでもウシは、はんすう胃といって、4つに分かれた胃(胃が4個あるのではない)をもち、一度胃袋に入れた食物をかみなおします。のんびりと、ねそべて、口だけもぐもぐさせているウシを見ますが、かみなおしをしているのです。

4つに分かれた最初の胃には、微生物がすんでいます。ウシは植物せんいを消化できませんが、かわりにこの微生物が植物せんいを消化しています。微生物が消化してくれたものを、口にもどしてかみなおしているのです。

ウマの胃袋は1つ

同じ草食動物でもウマは、はんすう胃ではなく1つの胃しかもっていません。そのかわり盲腸が発達しています。また、胃をこわしやすく、飼い主は、食べさせるものには気を使うそうです。

ウシのふんには、わらがほとんど見えませんが、ウマのふんには食べたわらがそのまま残っています。ふんを見ても、ウシの消化力の強さがわかります。(監修・今泉 忠明)

